

2008年8月12日

内閣総理大臣 福田 康夫 殿

民主党中国製餃子中毒事件対策本部

本部長 鳩山由紀夫



中国製冷凍餃子中毒事件について

福田総理の説明責任及び政治責任を強く求める（申し入れ）

民主党は本日、中国製冷凍餃子中毒事件対策本部を開き、内閣府、外務省、警察庁など関係省庁からこの間の経緯や対応についてヒアリングを行った。

外務省によれば、7月7日、中国外交部から在中国日本大使館に対し、中国国内で回収されたはずの冷凍餃子を食べた中国人4人が中毒となる事案が6月に発生した事実が判明した。この情報は、中国捜査当局より捜査途上のため非公表にとの要請を受け、外務省アジア大洋州局において非開示情報にするとの判断がなされ、非開示扱いの判断も含め、7月8日に福田総理大臣に伝えられたとのことである。しかもこの情報は、外務省から官邸と警察庁だけに伝えられ、日本国民はもとより、食の安全を所管する内閣府・厚生労働省・農林水産省にも一切伝えられなかった。1ヶ月後に、日本のマスコミが中国政府に問い合わせ中国政府がその事実を認め、日本政府も中国がそういうならと明らかにした。

結局、福田総理はじめ日本政府は1か月前に知っていたにも関わらず、国民に対し事実を隠ぺいし必要な対策は何も取らなかった。福田内閣は、安心実現内閣を標榜されているが、日本国民に対する安心内閣ではなく、中国政府の安心を実現する内閣だと言わざるを得ない。

民主党は、この問題を一刻も早く国会で審議できるよう、閉会中審査の実現を求めるとともに、日本国民を代表し、真に消費者の安心を実現する政策に取り組む立場から、福田内閣に対し、以下強く申し入れるものである。

- 一、 福田総理は7月8日には中国の情報を承知されていた。まずはその事実関係を明らかにすべきである。また外務省の判断を鵜呑みにし、国民に公表しなかった理由を明らかにされたい。
- 二、 政府は中国産餃子事件の真相解明のためにもっと強い行動をおこすべきである。にもかかわらず政府がこの1カ月間、食の安全・安心を守るための施策を行っていないのは、国民の信頼を大きく裏切るものであり、政治責任は重大である。その責任を明らかにされたい。
- 三、 福田総理が消費者重視を掲げ、鳴り物入りで入閣された野田消費者担当大臣も情報の蚊帳の外だった。福田内閣の消費者重視が画に描いた餅だったことが明らかになった。福田内閣のどこが消費者重視なのか明確に説明されたい。

以上